

住人十色

第 102 回

諦めない気持ちで掴んだ栄光 全国小学生女子相撲大会で準優勝

大野 春陽さん(内子小6年) Ⅱ内子17 Ⅱ



◎いつも練習している六日市自治会館で、準優勝のメダルと盾を見せてくれた大野春陽さん。

「第20回全日本小学生女子相撲大会」が10月15日、大阪府で開かれ、大野春陽さんが準優勝に輝きました。

監督の泉清一さんは「初戦が全てだった。粘りの相撲で強い子に勝ったことで勢いに乗った。優勝は逃したけれど、素晴らしい成績」と快拳に喜びます。「4年生から連続で出場して、過去2回は1回も勝てなかった」という大野さん。「姉は小6のときに4位になったので、それよりも上に行きたかった。嫌になるほど負けたけれど、その気持ちがあったから頑張れた」と胸を張ります。

最後の大会に向けて励んだのは、「つり出し」という技の練習。小学生女子には難しい技ですが、練習で足腰も強くなりました。大野さんは「泉監督は一人一人に丁寧に指導してくれる。相撲だけでなく人としても成長できたし、友だちもたくさんできました。相撲を続けてよかったです」と感謝の気持ちを表します。

子ども狂言にも挑戦している大野さん。「小さな頃は、苦手なことはすぐ諦めていた。いっぱい損をしていたと今は思う。苦手なことでも、頑張ればできるようになるので、これからはいろんなことに挑戦したい」と目を輝かせました。

編集 幸記

▽広報担当の喜びの一つは、取材した人が活躍して、また取材ができること。今月はその喜びをたくさん味わえました。特に剣道の岩中さんや相撲の大野さんは、数年前にも取材しているので、成長した姿に感動です(裕)▽特集の取材で私も子どもたちに交じって給食を食べました。献立作りから調理までの取材を通し、込められた思いを知って食べる給食は、とても温かみのある味がしました。「愛情」が、一番の隠し味なのかもしれませんね(航)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

